

2024 年 7 月 18 日 全 8 頁

Indicators Update

2024 年 6 月貿易統計

自動車輸出の回復の遅れなどにより貿易赤字（季節調整値）が拡大

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2024 年 6 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+5.4%と 7 カ月連続で増加したものの、コンセンサス（同+7.2%、Bloomberg 調査）を下回った。自動車輸出の回復ペースが限定的だった。輸出金額全体の季節調整値は前月比▲0.2%と 4 カ月ぶりに減少した。輸入金額は前年比+3.2%と 3 カ月連続で増加したが、伸び率は大幅に低下した。日本の内需の低迷もあって、エネルギー関連品目で輸入金額の鈍化基調が強まった。季節調整値では前月比+1.6%と 2 カ月連続で増加した。以上を受け、貿易収支は+2,240 億円と 3 カ月ぶりの黒字となった。ただし、季節調整値で見れば▲8,168 億円と 37 カ月連続の赤字であり、このところの赤字基調が継続している。
- 4-6 月期の実質 GDP 成長率における外需寄与度はゼロ近傍から小幅なマイナスの間を見込む。財の輸出数量は前期比▲0.7%、輸入数量は同+0.1%と試算される。貿易収支で見ると財は前期差▲7,000 億円程度、サービス（4 月、5 月計）は同+4,500 億円程度となった。6 月の国際収支統計の結果次第ではあるものの、財貿易の弱さをサービス貿易が部分的に相殺すると予想される。
- 6 月の輸出数量は前月比+2.1%と 2 カ月ぶりに増加した。減少基調にあった米国向けや欧州向けが持ち直した。他方、自動車は 2 カ月連続で減少し全体の足を引っ張った。自動車輸出は 1-3 月期にかけて低調だったが、足元では挽回生産に遅れが生じているとみられる。輸出数量全体を地域別に見ると、米国向け（同+1.7%）や EU 向け（同+2.5%）が増加に転じた一方、アジア向け（同▲0.8%）は減少した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調に転じるとみている。米国向け輸出は底堅く、需要の軟調さが続いてきた欧州では 2024 年後半から成長率が加速する見込みだ。また、遅れてきた自動車の挽回生産や、世界半導体販売額に見るシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復による半導体関連財の輸出増にも期待できる。ただし、日本の輸出管理の強化が一段と強化されることで中国などに向けた先端技術分野の輸出が減少するリスクには注意が必要だ。

【貿易金額】 内需の低迷もあって輸入の増加ペースが鈍化

2024 年 6 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+5.4%と 7 カ月連続で増加したものの、コンセンサス（同+7.2%、Bloomberg 調査）を下回った（図表 1）。自動車輸出の回復ペースが限定的であり、日本国内での挽回生産の遅れが足を引っ張っているとみられる。輸出金額全体の季節調整値は前月比▲0.2%と 4 カ月ぶりに減少した。主因は輸出価格の下落だったが、輸出の実勢を表す輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）は好調だった（図表 2 左）。

輸入金額は前年比+3.2%と 3 カ月連続で増加したが、伸び率は大幅に低下した。電算機類（含周辺機器）（同+48.5%）や原動機（同+37.6%）などが増加した一方、2022 年頃から輸入金額を押し上げてきたエネルギー関連品目に変調が見られた。液化天然ガス（同+8.1%）や原油及び粗油（同+3.3%）の伸び率が鈍化したほか、石炭（同▲25.3%）は大幅に減少した。資源高は一服したものの、円安による輸入金額の上振れが続く中、日本の個人消費の低迷などによりエネルギー需要が軟調になっているとみられる。輸入金額全体の季節調整値は前月比+1.6%と、輸入数量の増加により 2 カ月連続で増加した。

以上を受け、貿易収支は+2,240 億円と 3 カ月ぶりの黒字となった。ただし、例年 6 月は営業日数の少ない 5 月からの反動もあって貿易収支が改善しやすい。当月は季節調整値で見れば▲8,168 億円と 37 カ月連続の赤字であり、このところの赤字基調が継続している（図表 3）。

なお、4-6 月期の実質 GDP 成長率における外需寄与度はゼロ近傍から小幅なマイナスの間を見込む。財の輸出数量は前期比▲0.7%、輸入数量は同+0.1%と試算される。また貿易収支は▲2 兆 656 億円と、1-3 月期の▲1 兆 3,224 億円を 7,000 億円ほど下回った。他方、サービス収支は 4 月、5 月の合計で▲3,865 億円（季節調整値）と、1-3 月期の▲8,381 億円（同）を 4,500 億円ほど上回っている。6 月の国際収支統計の結果次第ではあるものの、財貿易の弱さをサービス貿易が部分的に相殺すると予想される。

図表 1：貿易統計の概況

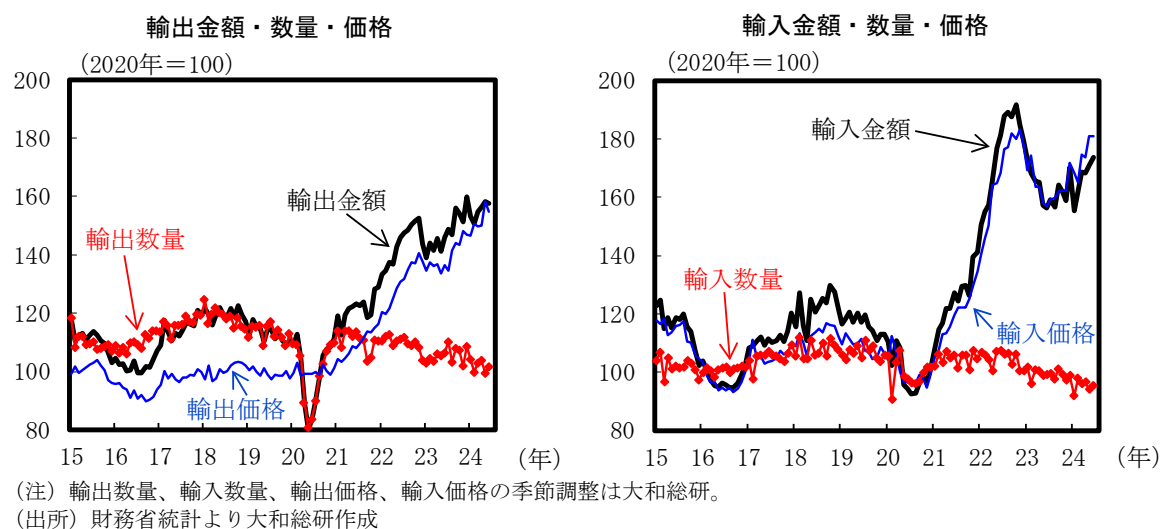
		2023年			2024年					
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
原系列 前年比 %	輸出金額	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	7.3	8.3	13.5	5.4
	コンセンサス									7.2
	DIRエコノミスト予想									8.1
	輸入金額	▲12.4	▲11.8	▲6.8	▲9.7	0.6	▲5.1	8.4	9.5	3.2
	輸出数量	▲3.4	▲5.6	2.9	2.3	▲1.5	▲2.1	▲3.2	▲0.9	▲6.2
	価格	5.2	5.8	6.6	9.4	9.5	9.6	11.9	14.5	12.3
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲3.2	▲3.4	▲3.1	▲8.4	1.3	▲9.7	0.7	▲2.0	▲8.9
	価格	▲9.5	▲8.8	▲3.8	▲1.4	▲0.8	5.1	7.7	11.7	13.3
	貿易収支(億円)	▲6,682	▲7,883	589	▲17,665	▲3,830	3,824	▲4,713	▲12,201	2,240
	輸出金額	▲1.2	▲1.8	5.7	▲4.2	▲1.7	2.7	0.9	1.2	▲0.2
	数量	▲0.6	▲5.0	6.7	▲4.1	▲4.3	3.3	0.8	▲4.1	2.1
	価格	▲0.5	3.4	▲0.9	▲0.2	2.8	▲0.6	0.2	5.6	▲2.3
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲1.4	▲1.8	7.1	▲8.8	4.4	4.0	▲0.2	1.6	1.6
	数量	▲1.7	▲1.9	1.3	▲7.0	6.5	▲1.8	0.5	▲2.6	1.5
	価格	0.3	0.1	5.7	▲2.0	▲2.0	5.9	▲0.7	4.3	0.0
	貿易収支(億円)	▲3,625	▲3,558	▲5,078	▲440	▲5,746	▲7,038	▲6,045	▲6,443	▲8,168
税関長公示レート		148.88	150.34	146.92	143.95	148.18	149.45	151.66	155.48	156.64

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

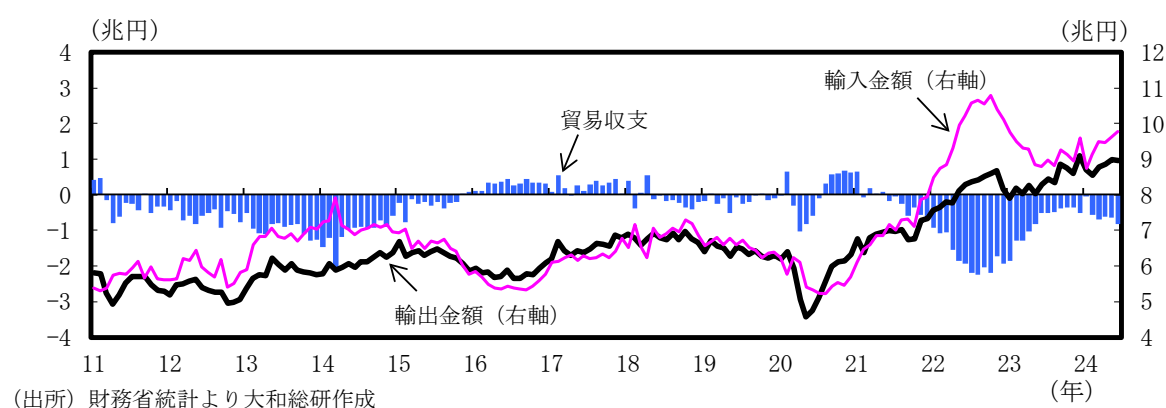
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】米欧向けの中間財や資本財が押し上げ要因となり2カ月ぶりに増加

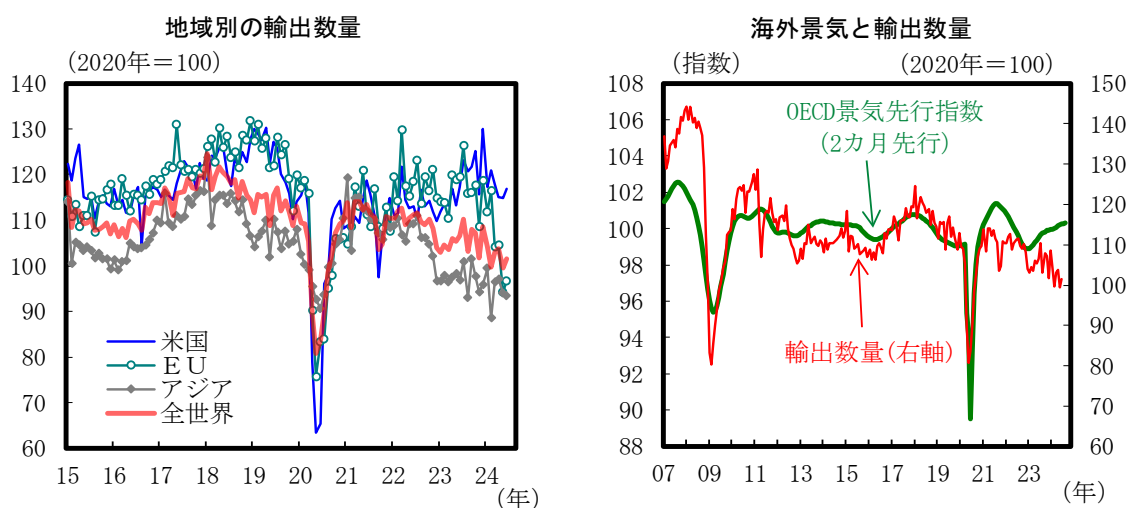
6月の輸出数量は前月比+2.1%と2カ月ぶりに増加した。減少基調にあった米国向けや欧州向けが持ち直した。ただし、押し上げ要因の一つである欧州向けの中間財・資本財については、増加が一時的な振れにすぎない可能性に注意が必要だ。また、自動車は2カ月連続で減少し全体の足を引っ張った。自動車輸出は1-3月期にかけて低調であったが、足元では挽回生産に遅れが生じているとみられる。輸出数量全体を地域別に見ると、米国向け（同+1.7%）やEU向け（同+2.5%）が増加に転じた一方、アジア向け（同▲0.8%）は減少した。

米国向けは4カ月ぶりに増加した。鉄鋼や集積回路（IC）といった中間財や、半導体等製造装置などの資本財が好調であった。他方で米国の個人消費が徐々に鈍化していることもあって、自動車や二輪自動車などの最終財の輸出数量は低水準にとどまった。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。米国と同様に鉄鋼や半導体等製造装置が全体を押し上げた。もっとも、ユーロ圏の5月の鉱工業生産指数は前月比▲1.2%（個社要因による振れが大きいアイルランドを除くベース）と低調であり、中間財や資本財の輸出増は一時的な振れである可能性がある。また、このところ低調だった自動車は増加に転じたものの、輸出台数は急落前の2月と比較すれば低水準にある。総じてみれば、欧州向け輸出は依然として軟調だ。

アジア向けは2カ月連続で減少した。前月に続いて半導体等製造装置が全体を押し下げており、均して見れば2023年以降の増加基調に頭打ちの兆しが見られる。また、鉄鋼やICなどの中間財も低調だった。中国向け（前月比▲3.6%）は3カ月連続で減少した。半導体等製造装置やプラスチックが増加したものの、自動車や非鉄金属などが足を引っ張った。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



【見通し】遅れてきた自動車の挽回生産や底堅い外需が輸出の追い風に

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調に転じるとみている。米国向け輸出は底堅く、需要の軟調さが続いてきた欧州では2024年後半から25年1-3月期にかけて成長率が加速する見込みだ。また、遅れてきた自動車の挽回生産や、世界半導体販売額に見るシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復による半導体関連財の輸出増にも期待できる。ただし、日本の輸出管理の強化が一段と強化されることで中国などに向けた先端技術分野の輸出が減少するリスクには注意が必要だ。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは当面は横ばい圏で推移するとみている。米国の6月の小売売上高は前月から横ばいであり、均して見ても3月からおおむね同水準で推移している。民需全体で見れば拡大ペースが緩やかに鈍化しているものの、株高による資産効果が個人消費を支えることもあって、日本からの輸出の下振れリスクは大きくない。もっとも、6月の連邦公開市場委員会（FOMC）で示されたドットチャートによれば年内の利下げ回数の見通しは1回にとどまっており¹、米国の成長率が持ち直したり日本からの輸出が増加基調に転じたりする時期は当面先となる可能性がある。

欧州向けは年後半に底を打つとみている。ユーロ圏の6月の景況感指数は95.9と、年始から底堅く推移している。こうした中、欧州中央銀行（ECB）は基調的なインフレの鈍化などを背景に6月に主要政策金利を0.25%pt引き下げた。先行きは四半期に一回程度の緩やかなペースで利下げが進む下で、欧州経済の回復が進むとみている。日本からの輸出も増加傾向に転じる見込みだが、欧州経済の回復ペースに沿った非常に緩やかな持ち直しにとどまるだろう。

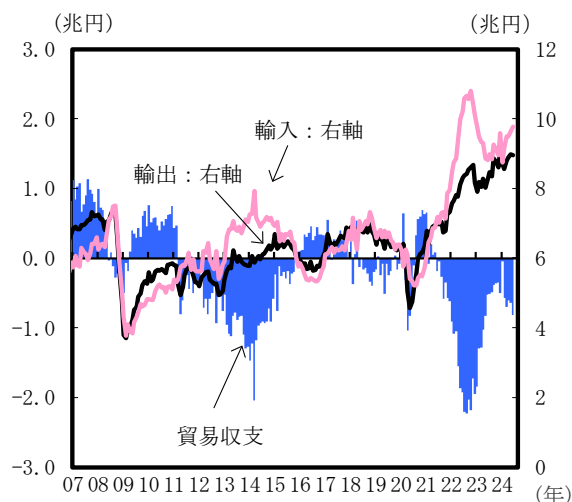
中国向けは緩やかな回復基調に転じるとみている。中国政府は「新質生産力」をキーワードに製造業投資を増強しており、製造業投資額は堅調に推移している²。また2024年5月以降は家電購入に対する補助金政策などの消費刺激策を導入する地方も散見され、6月の小売売上高は前年比+2.0%と小幅ながらプラスを維持した。先行きは中国政府と中国人民銀行による不動産不況への対応や、地方政府が打ち出してきた住宅需要刺激策、1兆元規模の超長期特別国債などの効果もあって、内需の回復が日本からの輸出を押し上げよう。もっとも、新築住宅や中古住宅の価格は2022年前半から下落が続いており、不動産不況が長期化している。当面は政策が内需に与える効果を注視する必要があるだろう。

¹ 詳細は矢作大祐・藤原翼「[FOMC 2024年内の利下げ予想は0.25%pt](#)」（大和総研レポート、2024年6月13日）を参照。

² 詳細は齋藤尚登「[中国：前例のない住宅市場テコ入れ策は不発か](#)」（大和総研レポート、2024年6月21日）などを参照。

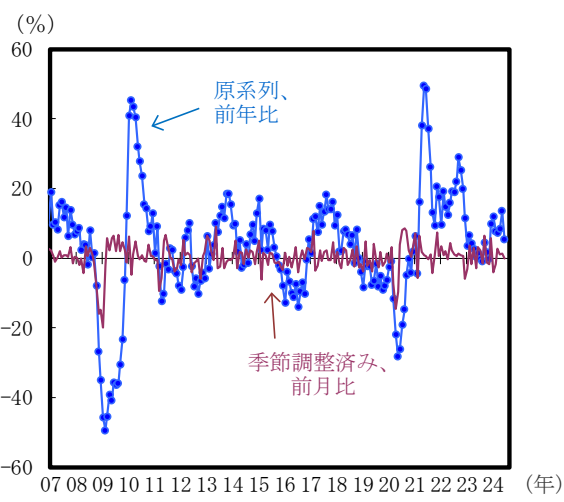
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

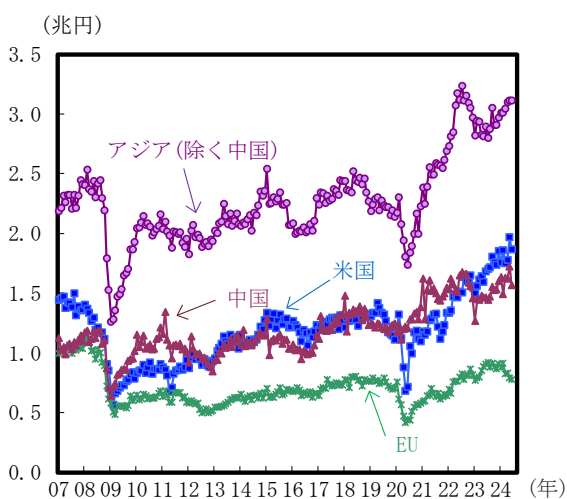


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）



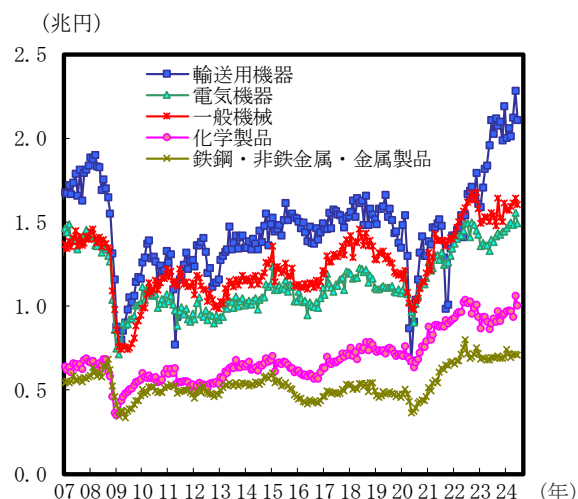
主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）



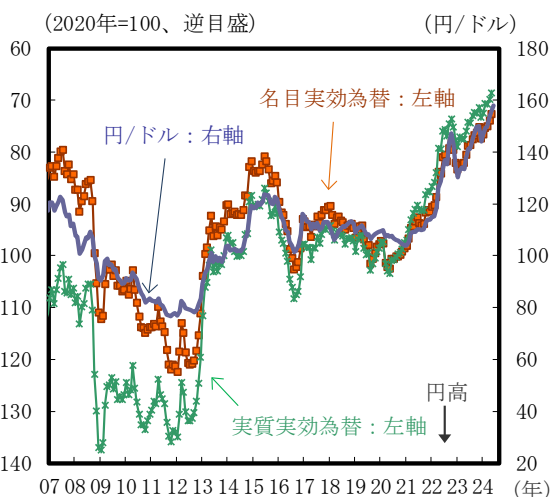
(注) 季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

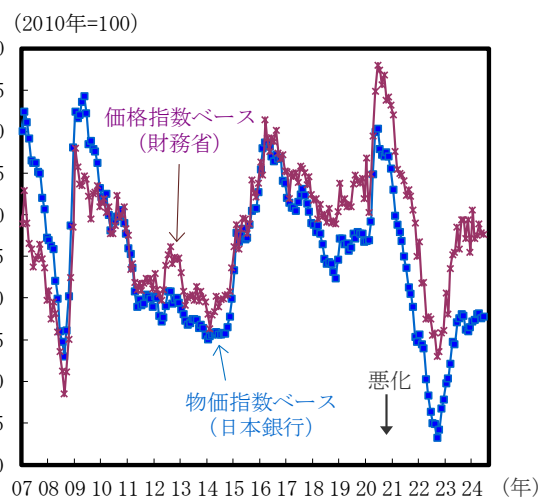
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05	2024/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.9	7.8	7.3	8.3	13.5	5.4	100.0	5.4
食料品	14.3	▲5.6	▲5.4	▲6.7	▲4.9	▲6.4	1.0	▲0.1
原料品	18.5	21.8	6.9	17.7	17.1	16.0	1.7	0.2
鉱物性燃料	▲32.6	▲35.3	▲5.4	16.6	▲13.0	9.2	1.1	0.1
化学製品	11.2	4.3	3.8	3.2	22.7	12.2	11.2	1.3
原料別製品	8.2	4.6	2.5	6.1	7.0	4.4	11.5	0.5
鉄鋼	7.2	▲0.1	▲3.6	▲2.4	▲3.2	▲8.1	4.0	▲0.4
非鉄金属	7.6	7.1	5.2	17.7	17.6	22.0	2.8	0.5
金属製品	10.3	9.9	9.6	9.3	11.0	7.1	1.3	0.1
一般機械	5.2	3.7	3.9	5.7	9.8	3.5	18.1	0.6
電気機器	7.6	7.7	9.9	8.5	16.9	7.4	16.4	1.2
半導体等電子部品	8.3	6.4	11.3	20.4	24.0	7.0	5.3	0.4
I C	11.4	10.6	15.7	30.1	32.2	8.4	3.9	0.3
映像機器	20.8	17.0	14.1	10.7	1.1			
映像記録・再生機器	12.3	20.8	4.0	▲1.4	4.7	5.0	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	3.9	▲1.1	▲0.4	0.5	18.7	▲8.9	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲4.4	▲0.9	1.5	1.0	8.4	2.3	2.0	0.0
輸送用機器	24.1	20.1	10.3	15.9	16.9	0.8	23.5	0.2
自動車	31.6	19.8	7.1	17.8	13.6	2.3	17.4	0.4
自動車の部分品	22.1	22.6	13.6	6.9	10.9	3.2	3.7	0.1
その他	20.3	7.0	14.6	5.4	12.1	8.4	15.4	1.3
科学光学機器	15.6	9.5	10.5	▲1.3	3.4	13.0	2.6	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05	2024/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	15.6	18.4	8.5	8.8	23.9	11.0	100.0	11.0
食料品	8.7	31.2	21.2	20.5	26.5	12.1	0.9	0.1
原料品	▲14.4	▲15.3	▲3.8	2.0	0.1	22.4	0.4	0.1
鉱物性燃料	51.2	▲87.6	▲59.8	▲55.2	▲40.3	▲68.3	0.1	▲0.3
化学製品	22.3	7.1	▲12.9	▲13.1	46.3	18.7	7.7	1.4
原料別製品	▲1.4	7.7	4.3	5.2	8.3	11.1	6.6	0.7
鉄鋼	▲7.7	▲5.6	▲2.3	4.5	▲5.8	19.8	1.6	0.3
非鉄金属	▲29.6	▲10.5	▲4.4	▲4.6	11.8	10.7	0.8	0.1
金属製品	6.8	31.7	34.2	21.1	28.7	22.4	1.4	0.3
一般機械	5.4	11.2	8.7	1.3	13.1	6.8	23.0	1.6
電気機器	1.4	15.6	10.9	0.0	24.0	16.0	12.9	2.0
半導体等電子部品	2.5	11.0	2.0	2.4	18.9	11.9	1.2	0.1
I C	7.3	26.0	9.8	▲6.0	13.0	5.4	0.6	0.0
映像機器	▲6.5	▲17.0	▲7.4	▲38.4	▲17.4			
映像記録・再生機器	26.2	31.4	18.4	▲28.6	▲5.4	▲9.5	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	57.5	17.2	15.7	14.6	18.3	▲13.2	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	3.0	13.4	11.6	5.4	10.6	1.9	1.2	0.0
輸送用機器	36.5	36.9	15.2	25.5	35.8	10.0	36.6	3.7
自動車	32.7	31.8	9.6	26.0	34.0	9.3	29.7	2.8
自動車の部分品	43.6	57.7	47.1	20.6	38.4	20.8	5.6	1.1
その他	12.4	9.6	9.3	7.0	13.3	15.6	11.7	1.8
科学光学機器	5.3	15.0	10.1	3.2	5.7	25.0	2.8	0.6

EU向け輸出金額 内訳								
	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05	2024/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.8	14.6	3.0	▲2.0	▲10.1	▲13.4	100.0	▲13.4
食料品	5.8	12.8	29.6	18.8	41.3	6.7	0.7	0.0
原料品	41.4	30.1	13.4	41.2	22.7	8.9	1.0	0.1
鉱物性燃料	95.4	▲50.1	▲16.8	▲29.2	▲90.0	▲47.5	0.1	▲0.1
化学製品	▲2.7	13.6	20.0	1.9	15.2	13.4	13.5	1.4
原料別製品	▲6.9	7.9	▲8.3	13.2	▲27.0	▲19.2	8.3	▲1.7
鉄鋼	18.2	▲6.2	▲32.3	44.8	▲61.2	▲49.5	2.0	▲1.7
非鉄金属	▲53.0	▲8.0	▲34.3	▲23.7	▲34.3	▲23.2	1.0	▲0.3
金属製品	9.5	21.9	10.2	5.8	3.7	▲3.6	1.5	▲0.0
一般機械	▲4.7	▲3.8	▲4.4	▲17.8	▲19.8	▲17.3	20.2	▲3.7
電気機器	3.1	7.7	7.8	▲6.1	4.9	2.3	17.7	0.3
半導体等電子部品	7.2	▲1.3	7.1	▲17.0	1.7	▲3.4	2.3	▲0.1
I C	▲7.8	▲15.2	2.3	▲28.2	▲16.9	▲20.9	0.7	▲0.2
映像機器	3.6	▲8.8	▲17.5	20.3	12.4			
映像記録・再生機器	29.5	7.6	▲3.3	34.8	15.2	18.5	0.9	0.1
音響・映像機器の部分品	5.7	21.1	0.4	27.8	42.0	28.8	0.1	0.0
電気回路等の機器	▲3.2	▲3.7	▲3.2	▲15.7	▲10.0	▲0.3	1.7	▲0.0
輸送用機器	59.0	41.1	1.1	▲0.7	▲28.1	▲34.6	22.0	▲10.1
自動車	83.5	51.3	2.5	7.4	▲36.9	▲38.6	14.6	▲7.9
自動車の部分品	72.4	38.5	4.8	▲8.7	▲7.7	▲8.6	4.3	▲0.3
その他	11.1	12.5	6.4	9.6	13.3	1.7	16.5	0.2
科学光学機器	18.3	15.2	4.7	10.1	3.4	11.8	4.7	0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05	2024/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.5	2.3	6.6	9.7	13.6	7.7	100.0	7.7
食料品	16.0	▲16.0	▲14.8	▲16.0	▲16.4	▲14.3	1.3	▲0.2
原料品	18.0	21.4	6.1	15.8	17.4	14.8	2.7	0.4
鉱物性燃料	▲34.1	▲21.0	8.6	60.2	▲16.9	▲7.3	1.2	▲0.1
化学製品	15.1	1.3	4.8	5.5	17.1	11.0	14.5	1.5
原料別製品	12.4	3.7	2.4	8.9	11.4	7.9	14.7	1.2
鉄鋼	2.3	0.1	▲3.7	▲2.5	3.1	▲4.9	5.1	▲0.3
非鉄金属	23.0	7.8	6.6	25.1	21.7	23.5	4.7	1.0
金属製品	20.2	3.2	6.0	8.7	8.6	10.5	1.4	0.1
一般機械	11.5	0.5	2.6	11.7	17.1	8.1	17.7	1.4
電気機器	9.8	3.7	8.8	13.2	16.5	4.4	20.7	0.9
半導体等電子部品	8.7	5.9	11.7	24.1	25.8	6.9	9.1	0.6
I C	11.7	10.4	16.0	33.6	34.2	8.9	7.1	0.6
映像機器	27.4	33.6	26.8	19.0	▲2.9			
映像記録・再生機器	▲2.6	16.3	▲2.1	▲7.1	▲0.2	4.2	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	7.5	▲5.4	1.2	9.3	29.4	▲6.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲6.0	▲5.3	▲2.1	2.2	9.7	1.8	2.8	0.1
輸送用機器	23.3	1.9	12.5	20.8	12.4	15.7	9.0	1.3
自動車	53.5	10.3	22.2	28.5	23.0	28.0	5.2	1.2
自動車の部分品	2.6	▲0.4	▲7.5	▲0.0	▲5.1	▲2.9	2.5	▲0.1
その他	25.2	3.8	13.2	1.8	12.0	6.7	18.2	1.2
科学光学機器	21.4	6.2	12.8	▲6.4	1.3	11.0	2.7	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05	2024/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	29.2	2.5	12.6	9.6	17.8	7.2	100.0	7.2
食料品	▲22.2	▲58.8	▲56.2	▲56.8	▲55.8	▲60.6	0.5	▲0.8
原料品	47.8	11.7	20.6	26.9	21.6	6.4	2.8	0.2
鉱物性燃料	64.9	▲30.9	27.7	▲7.6	▲9.8	23.9	0.8	0.2
化学製品	27.3	▲0.5	3.1	6.1	15.3	7.9	17.1	1.3
原料別製品	27.0	▲2.3	10.6	15.4	30.8	20.6	12.6	2.3
鉄鋼	▲0.6	▲6.5	21.1	2.4	12.4	3.2	2.6	0.1
非鉄金属	51.1	2.6	7.9	31.4	74.1	47.7	5.1	1.8
金属製品	30.8	▲3.2	11.3	6.4	4.5	18.1	1.5	0.3
一般機械	34.1	17.4	20.0	20.5	37.7	5.2	24.0	1.3
電気機器	9.7	0.0	6.0	7.4	5.9	▲0.9	20.6	▲0.2
半導体等電子部品	▲6.7	▲4.3	▲1.6	17.1	3.0	▲4.6	7.0	▲0.4
I C	▲17.2	▲7.0	▲6.7	22.0	1.9	▲5.5	5.1	▲0.3
映像機器	24.3	38.5	51.0	24.7	9.9			
映像記録・再生機器	▲51.2	28.9	1.4	▲10.6	▲10.8	▲2.2	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲8.7	▲36.2	▲23.0	▲10.1	24.0	▲6.7	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲0.2	▲6.3	▲1.5	5.9	13.1	2.0	3.2	0.1
輸送用機器	80.4	24.4	46.8	22.5	12.4	17.3	8.4	1.3
自動車	111.4	22.5	120.6	36.0	23.4	25.1	5.7	1.2
自動車の部分品	29.4	22.5	▲12.1	▲3.4	▲12.8	▲5.1	2.3	▲0.1
その他	39.9	▲12.7	16.3	▲4.3	10.8	12.6	13.2	1.6
科学光学機器	37.0	1.6	27.6	13.0	21.0	12.4	3.4	0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成